

自然と文化、人がかがやく平林

## 平林地域まちづくり新聞

Vol. 18  
2020年  
6月15日号

## 初の書面決議となった通常総会 事業計画や新年度予算を承認

## 令和2年度 収支予算

◆収入		(単位:円)	
区分	本年度予算	説明	
1 地域まちづくり交付金	1,633,000	地域まちづくり交付金	
2 諸収入	208,000	前年度繰越金等	
合計	1,841,000		
◆支出			
区分	本年度予算	説明	
1 地域振興費	300,000	地域交流イベント	
2 研修費	70,000	研修視察、話し合いの場づくり等	
3 地域コミュニティ支援経費	860,000		
1 集落活動支援事業	335,000	各集落の事業を支援	
2 元気づくり応援事業	525,000	手上げ方式による支援事業	
4 安全安心な暮らし対策事業	50,000	学校等との連携	
5 健康・福祉増進経費	10,000	ささえあいの地域づくり、敬老会参画	
6 環境保全・改善経費	60,000	地域資源の発掘、荒川クリーン作戦	
7 組織運営経費	474,000	役員報償費、消耗品費、印刷製本費等	
8 予備費	17,000		
合計	1,841,000		

令和2年度の通常総会は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、書面による議決を行い、代議員の皆さんにご審議いただきました。

総会では、令和元年度の事業報告と収支決算、令和2年度の事業計画と収支予算が審議され、いずれも原案どおり承認されました。



昨年度の総会の様子

## 新会長あいさつ

初夏を迎え、平林地域の皆様におかれましては、お変わりなくお過ごしのことと存じます。

令和2年4月より、会長に就任しました湯ノ沢集落の小池利也と申します。

松本前会長より、この度協議会を引き継ぐこととなりました。何分不慣れなため、皆様にはご迷惑をおかけすることと思っておりますが、誠心誠意務めさせていただきますので、よろしくお願いいたします。

例年4月に開催しております通常総会は、新型コロナウイルス感染症の影響により、協議会史上はじめてとなる書面議決での開催をさせていただきました。

令和2年度の会議や事業につきましても、感染状況や感染対応策が刻々と変わって行く中で、現況を見極めながら皆さんの安全を第一に考え、進めて行きたいと考えています。

今後とも地域の皆様や各種団体と協働のもと、より良い地域づくりを目指し活動を進めてまいります。

皆様方の特段のお力添えを賜りますようお願い申し上げます、あいさつとさせていただきます。

役員・運営委員紹介

【役員】

会長	小池利也
副会長	木村竜也
監事	木村清美
監事	佐藤知江

【運営委員】

松沢昌彦	松沢一	小岩内金一(新)	小岩内富雄	川部慎吾(新)	川部和栄(新)	湯ノ沢正則	葛籠山健(新)	葛籠山徹(新)	平林喜美男(新)	宿田富夫(新)	宿田佳秀
------	-----	----------	-------	---------	---------	-------	---------	---------	----------	---------	------

人事異動に伴い、事務局は平山から大矢透が担当いたします。

よろしくお願ひ申し上げます。

長い間お世話になりました。(平山)

(敬称略)

## 前会長あいさつ

總會をもって平林地域まちづくり協議会会長を退任させていただく事となりました。

在任中は地域民の皆様から多大なご協力を賜り、誠にありがとうございました。昨年度は平林小学校の閉校もあり、例年以上に学校と連携を取り活動して参りました。私自身にとっても大変意義がある、良い経験となりました。

退任後もまち協の一員として残りますので、新会長を中心にさらに素晴らしい「平林地域」になりますよう微力ながら支えて参りたいと思います。



神林支所の中にいます。  
気軽にご相談ください。

神林支所地域振興課

☎66-6113

はじめまして！

4月から平林地域担当します、保健師の千葉です！  
赤ちゃんの訪問やお子さんの健診、特定健診・がん検診など、みなさんの健康づくりのお手伝いをさせていただきます。

■6月からがん検診を再開します

5月末まで休止していたがん検診を再開します。詳しい日程は6月1日号市報折り込みのご案内をご覧ください。これから申し込みされる方は、神林支所までお気軽にご連絡ください。

■コロナ疲れしていませんか？

新型コロナウイルス感染症により、日常生活や仕事に影響が出ている方も多くいるかと思えます。  
「気持ちが沈む、いらいらする、孤立感、生き生きした感情が湧いてこない」等の感情は自分を守るための正常な反応です。しかし、長期間続く場合は、体からの悲鳴かもしれません。休養をとっても回復しない場合は、一度ご相談ください。

表：心の回復の過程

	期間	例	影響
ぼうぜんじしつぎ 茫然自失期	数日	国内で 感染拡大	強いストレスを感じ、感覚が麻痺するなど心や体に影響が出る。
えいゆうぎ 英雄期 (ハネムーン期)	1～2 カ月	緊急事態宣言 発令直後	気持ちが高揚し、無理をして頑張る時期。同じコロナウイルスと戦う仲間と連帯感が生まれる。不自由な生活での疲れが出てくる。
げんめつぎ 幻滅期	～ 約1年	緊急事態宣言 長期化・解除後	長期化するストレスによりエネルギーが消耗、極度の疲労感・憂鬱が増強する時期。うつ病を発症する人もいる。抱えている問題や悩みの質が人それぞれになってくる。
さいけんぎ 再建期	1年～	感染終息	復旧が進み、生活の目途が立ち始め、自信が向上する。元の生活に戻れない人はストレスの多い生活を送る。

※市のホームページもご覧ください。

「平林地域まちづくり協議会」で検索してください。

地域の情報をおよせください。ご意見・ご感想・問い合わせは

■神林支所地域振興課自治振興室

■電話・告知端末 66-6122

■メール k.shinko-chiiki@city.murakami.lg.jp

■ホームページ URL <http://www.city.murakami.lg.jp/>